

各位

上場会社名 株式会社 イントランス  
 代表者 代表取締役社長 上島 規男  
 (コード番号 3237)  
 問合せ先責任者 取締役管理部門管掌兼経理・総務部部长 濱谷 雄二  
 (TEL 03-6803-8100)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年5月1日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成22年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,170	0	△25	△50	△744.00
今回発表予想(B)	79	△270	△299	△318	△4,732.59
増減額(B-A)	△1,090	△270	△274	△268	
増減率(%)	△93.2	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年3月期第2四半期)	2,206	△654	△721	△881	△13,725.53

平成22年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,750	40	10	△20	△290.70
今回発表予想(B)	780	△250	△300	△320	△4,651.23
増減額(B-A)	△2,970	△290	△310	△300	
増減率(%)	△79.2	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	3,776	△1,374	△1,474	△1,635	△25,513.22

## 修正の理由

当社が属する不動産業界は、一部に不動産価格の下げ止まり感が見えつつも、金融危機の影響による金融機関の不動産関連融資に対する厳格姿勢に大幅な改善は見られず、不動産売買取引の流動性は著しく低下した状態が続いております。また、景気後退を受け、オフィスビルのテナントが経費削減のために賃料水準の低いビルへの移転や賃借面積の縮小等を行う傾向にあり、オフィスビルの空室率は上昇し、賃料水準は低下傾向が続くなど、厳しい事業環境が継続しております。

このような状況下、当社は、事業法人や個人投資家のニーズに適した比較的小規模な物件への取り組みと売買仲介業務に鋭意注力すると共に、役員報酬の減額や本社事務所の移転等による固定費の圧縮に努めてまいりました。

しかしながら、流動性が著しく低下した不動産売買取引市場において、物件の取得・売却には至らず、また、当第2四半期会計期間末に保有している販売用不動産について124,748千円のたな卸資産評価損を計上いたしました。

この結果、平成22年3月期第2四半期累計期間業績予想及び平成22年3月期通期業績予想を上記のとおり修正いたします。

(注) 上記の予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき算出しておりますので、実際の決算数値とは異なる可能性があることをご留意ください。

以上